

事業名：（学校保健部）学校保健領域講習会

学校における理学療法士の活動

公社）神奈川県理学療法士協会 学校保健部講習会

2023/10/15（日）



公益社団法人

神奈川県理学療法士会

Kanagawa Physical Therapy Association

活動報告

- 2023/10/15（日）にオンラインにて神奈川県理学療法士会「学校における理学療法士の活動」講習会を開催したので報告する。
- 2023/08/25(金)～2023/10/5（木）まで日本理学療法士協会において募集し、72名の参加者を募ることができた。

講習会概要

2023/10/15（日） 9:00～12:20 <オンライン開催（Zoom）>

Program

- 9:00～ 9:05 （はじめに） 中尾陽光（学校保健部 部長）
- 9:05～10:05 （講義1） 大工谷新一（北陸大学）
『理学療法士が学校で活動していくために必要なこと』
- 10:05～11:05 （講義2） 山川智之（南大阪病院）
『学校保健活動当初の経験』
- 11:05～12:05 （講義3） 塩田真史（横浜市スポーツ医科学センター）
『理学療法士による学校での活動紹介（横浜市の事例）』
- 12:05～12:20 （今後の展望）大工谷新一・山川智之・塩田真史

※司会進行：学校保健部 中尾陽光

運 営：学校保健部 大木麻衣、田中大夢

講習会 参加者

参加登録者 : 72名 (神奈川県理学療法士会員:22名、他都道府県士会員:50名)

当日参加者 : 66名+5名 (学校保健部員参加)

(神奈川県理学療法士会員:21+5名、他都道府県士会員:45名)

※神奈川県士会以外の都道府県士会からの参加者:

- 6名 北海道士会
- 5名 兵庫県士会
- 4名 福井県士会
- 3名 東京都士会、千葉県士会、
- 2名 新潟県士会、静岡県士会、長崎県士会、佐賀県士会、鹿児島県士会
- 1名 福島県士会、茨城県士会、埼玉県士会、長野県士会、岐阜県士会、
愛知県士会、三重県士会、滋賀県士会、大阪府士会、和歌山県士会
広島県士会、山口県士会、香川県士会、熊本県士会

講習会の様子（講義1）

理学療法士による学校での活動



大工谷新一, PT, Ph.D., JSPO-AT.
北陸大学医療保健学部理学療法学科

講習会の様子（講義2）

【講義2】学校保健活動当初の経験



社会医療法人景岳会 南大阪病院
大阪府理学療法士会 監事
山川 智之

2023.10.15.学校における理学療法士の活動
(神奈川県士会スポーツ局)

講習会の様子（講義3）

横浜市スポーツ医科学センター 理学療法士による学校現場での活動紹介



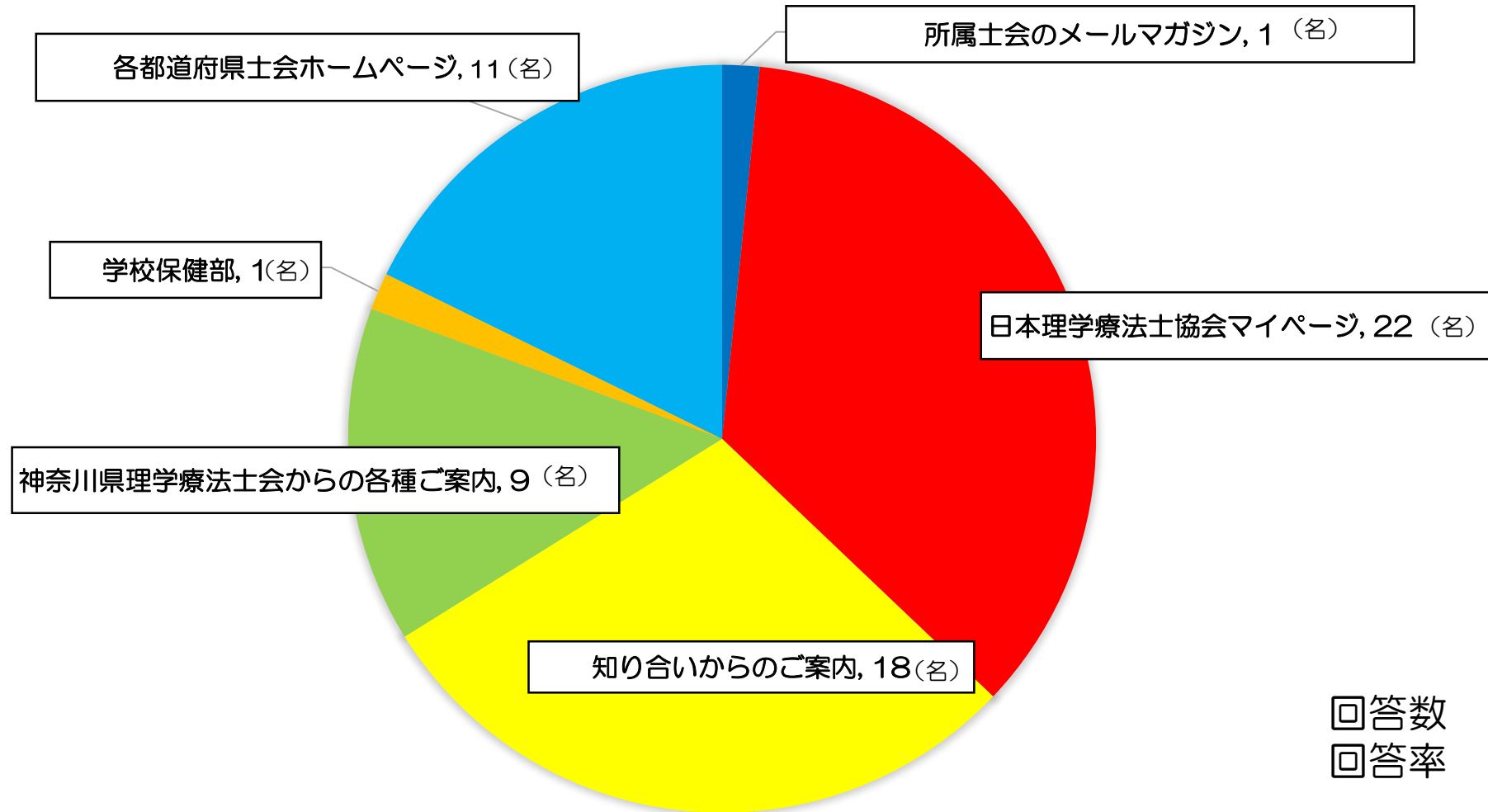
15th Oct 2023



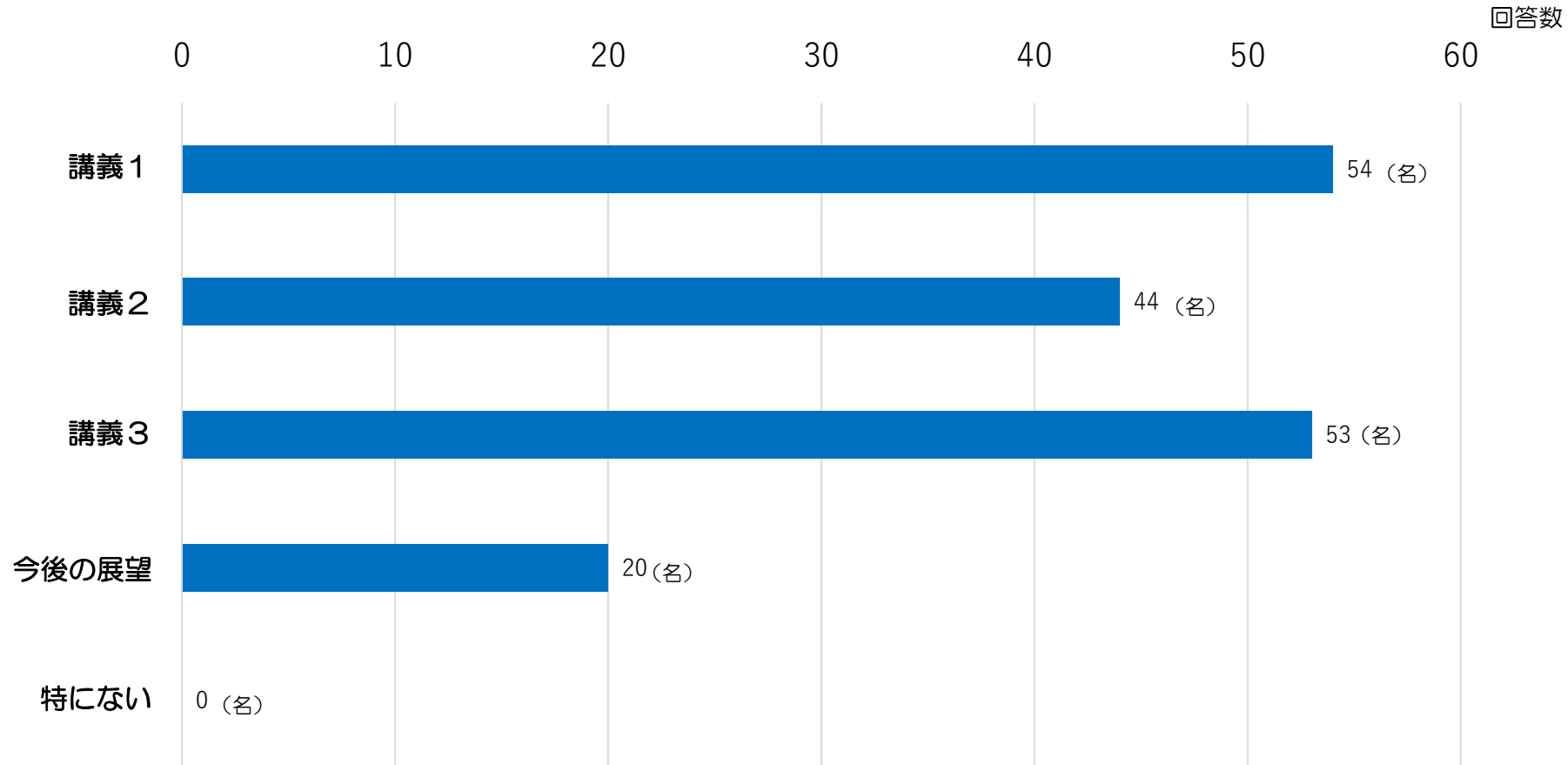
公益財団法人 横浜市スポーツ協会
横浜市スポーツ医科学センター
リハビリテーション科

塩田 真史

Q.本講習会の開催をどこでお知りになりましたか？



Q.興味深かった講演内容をお教えてください。 (複数回答可)



Q.本講習会に関して、ご意見・ご感想がありましたら、ご記載ください。

- 今後理学療法士が活躍できる分野と思った。またスクールトレーナーの制度にも注目していきたい。
- 同様の内容の研修が多くないので、引き続き行ってほしい。
- 養護学校に教師として勤務しています。今回の講習会の内容を教育委員会、文部科学省、学校教師に聞いてもらいたい。どうしても、文部科学省、学校と厚生労働省、医療現場との間に壁があります。
- 非常に興味のある内容で、今後のPTとしての職域拡大も含めて重要な取り組みだと思いました。
- スクールトレーナー制度への関心が高くなり、会員へ正確な情報を提供できる、タイムリーな良い企画でした。
- ただ単に学校現場へ介入すれば、理学療法士の特性を活かせる、というものではないことが改めて再認識させられました。講義をしていただいた先生方の実際にご苦労された経験談も、直に聞けて非常に良かったです。
- 今後、所属している病院にて近隣の学校に出向いて活動が何かできればと案が出ていたところでした。まさにそれに繋がるであろう、大変貴重なご意見を聴けたと感じております。
- PTの活動分野が広がって行くのが喜ばしい反面、より専門性を深め、啓発していく必要があると感じました。
- メディカルチェックや運動器機能予備調査の実際が限られた時間でどのように行われているか、動画などがあれば参考までに見たかったです。

Q.本講習会に関して、ご意見・ご感想がありましたら、ご記載ください。

- 理学療法士が学校現場で予防的に活躍できる方法を模索していたため、実際の活動や課題を聞くことができ非常に興味深い内容でした。その中で**越えるべきハードルが多い**と感じました。
- 出張で派遣される形式ではなくて、公立学校ではなくても私立学校でもよいので、**学校職員としてスクールトレーナーの役職**で仕事をするようになっていけるとよいと感じました。
- **学校現場への介入に関するイメージ**ができました。
- 今後、学校保健分野の参加拡大が見込まれると思うので大変貴重な講義を聞くことができたと思います。**保健体育の分野との区分**が必要になると感じました。
- **施設環境の整備や地域、教育委員会と学校の理解と協力**によって、活動の幅は大きく異なってくるのではないかと思いました。偏見ですが、個人的には公立学校より私立学校のほうがやりやすそうなイメージです。また、地方によって生徒数や規模も異なるので、都道府県全体でまんべんなく進めるのであれば地域格差の問題も生じてくると思います。また、市町村の理学療法士として働くか、教育委員会・学校で雇われた理学療法士として働くかによっても、**給料も変わってくる**などと思いました。
- **学校への介入には他団体との関係性をどう作っていくか**が大切であることを考えさせられました。

Q.学校保健領域において、今後取り上げてほしい内容がありましたら、ご記載ください。

【事例・活動報告関連】

- 他団体への初期介入の方法。
- 運動器の健康・日本協会を含めた、動向や推移についてタイムリーな情報が頂きたい。
- いろんな取組事例の紹介。特に部活動のサポートでの取組事例をお願い致します。
- 医師会や教育委員会等への働きかけの方法等。
- 塩田先生の横浜での、個別指導の具体的内容も教えて頂きたいと思いました。
- 学校側の意見や、実際に中学生等に教育をした後のフォローが成功した事例等について伺えたら嬉しいです。
- 部活動の地域移行に対する取り組みや対応について

【理学療法士の役割関連】

- 保育所等訪問における、理学療法士の役割など（園、小学校、中学校、高校）
- 特別支援教育における理学療法士の状況と活躍
- 特別支援学校の肢体不自由の理学療法士の常勤勤務。

Q.学校保健領域において、今後取り上げてほしい内容がありましたら、ご記載ください。

【講義関連】

- 発達障害での分野、実際の講義内容など
- 今回が発表いただいたような活動がまだできていない、そしてこれからしていきたいと思っている理学療法士がどのような形で動き始めるべきなのかといった内容を取り上げていただければ幸いです。
- 病院勤務している中で介入方法、問題点など詳細な部分があると嬉しいです。
また仕事としての報酬のあり方等も難しいとは思いますが、気になるところです。
- 学校保健領域で活動していける方法(所属やライセンスなど)を知りたいです。
- 認定スクールトレーナー制度の今後の展望と派遣方法、今後の学校、教育現場への周知方法や働きかけについて。
- 小学校時代に獲得しておきたい運動パフォーマンスや協調運動について。